



2020年7月
Vol.07

社会福祉法人
札幌慈啓会 広報誌

TOMOIKI

すべてのいのちに寄り添い、共に生き続ける

特集

職員が語る「福祉の仕事」

.....2P



一緒にがんばりましょう!

- ・地域の社会資源として4P
- ・令和元年度決算報告、苦情報告5P
- ・支えて頂いている人と組織6P
- ・新型コロナと夏の暑さに負けないために!8P

職員が語る

「福祉の仕事」



当法人には専門職・事務員合わせて約650名の職員が在籍しています。専門職には医師、看護師を始め、介護福祉士、社会福祉士、保育士など様々な職種が日々の業務についており、各施設でその専門性を発揮しています。担い手不足が叫ばれ、「介護の仕事って体力的にも精神的にもキツそう」「保育士は人が足りなくて大変そう」といったイメージを持たれることも多い福祉の仕事ですが、実際に働いている職員たちはどのような思いを持って働いているのでしょうか？今回は当法人で活躍する職員の生の声を聞いてみましたので、以下にご紹介いたします。

心を通じ合うことが出来た瞬間、 温かい気持ちになる

いねさき まりえ
岩崎 万里江

- 所属 慈啓会特別養護老人ホーム
- 資格 介護福祉士
- 入職 2008年
- 趣味 旅行

中学の職場体験をきっかけに介護の仕事に興味を抱き学校で勉強しましたが、実習のとき大変そうに見えて就職しようか迷いました。それでも介護福祉士の資格を活かそうと入職しました。最初はもちろん大変でしたが、日々の業務の意味について理解できるようになり、ご利用者様の思いに気付けるようになるにつれ、大変だとは思わなくなっていきました。

意思疎通が困難な方と心を通じ合うことが出来た瞬間は、温かい気持ちが生まれ、それが日々の原動力となっています。特に、自分の関わり方によってご利用者様の伝えたいことを引き出せたりすると、別のご利用者様への対応も工夫しようと思えるようになります。

介護の仕事は同じ日々の繰り返しのようには見えませんが、ご利用者様は日々変化し、私たちはその変化への対応力や想像力が求められます。他職種と連携しながらご利用者様の生活を支えるこの仕事に、やりがいを感じ、誇りを持って仕事をしています。



子どもたちとの時間を楽しみ、成長を支える

ささま ゆうと
佐々木 雄士

- 所属 啓明ともいき保育園
- 資格 保育士
- 入職 2014年
- 趣味 旅行、読書、ラーメン屋めぐり

もともと保育園の先生になりたくて専門学校に入りました。卒業後は障害児向けの施設で働きましたが、やはり保育士の仕事がしたいと思い、開園の年に転職しました。

担任を務める4月から3月の間に、子どもたちの成長を感じたときはやりがいを感じます。今担当している2歳児はまだ言葉が覚えられないので、何気ない日常会話の中でもとんちんかんな答えが返ってきて、それがまた面白いです。書類を作ったりイベントの準備をしたりと忙しさはありますが、子どもたちと過ごす時間は自分自身も楽しむように心がけています。楽しむことが出来れば余裕が持てると思います。

現在男性の保育士は自分一人ですが、その分他の職員にはよく相談に乗ってもらっています。何か決めるときには自分だけの判断に偏らないよう、周囲の人やもう一人の担任の先生の意見を聞くようにしています。子どもが好きで子どもと遊ぶことが好きな人にとっては、楽しくできる仕事だと思います。

思いに寄り添い、共に考える医療現場の福祉職

たかみ あまよ
高見 明世

- 所属 慈啓会病院 地域医療連携室
- 資格 社会福祉士・精神保健福祉士
- 入職 2010年
- 趣味 食べること

高校の進路選択のときに医療ソーシャルワーカーの存在を知り、困っている人に寄り添い、病気や怪我をきっかけに生じた課題の解決に向けて一緒に方法を考える仕事に興味を持ちました。福祉系大学へ進学し、社会福祉士の資格をとって、卒業後現在の仕事に就きました。

入職直後は医療用語全般も各種社会保障制度もわからないことばかりでしたが、一つ一つ調べて答えるようにしていく中で、徐々に答えられることが増えていきました。

普段から、患者様やご家族の気持ちや思いを引き出す問いかけをするように意識していますが、必要によっては一歩踏み込んで聞くことを心がけています。その方の思いに寄り添い、共に課題解決について考えるようにしています。

患者様やご家族の不安を取り除くことができ、明るい表情で、「ありがとう」や「安心しました」などの言葉を頂いたときは、ホッとする瞬間です。



地域の社会資源として

自主グループの支援

昨年5月から活動を開始した「リラの会」は、月2回、「木洩れびの家」で自主制作のDVDを見ながら運動し、その後持ち寄ったお菓子を囲んで茶話会を楽しんでいます。また、特別養護老人ホームの会議室では月4回、近所の小学生や中学生のお母さんたちを中心とした「ZUMBA円山」がサルサ、フラメンコ、サンバなどのリズムに合わせてインストラクターの振り付けを見ながらダンスを楽しんでいます。この2つのグループの立ち上げに、当法人が関わらせて頂きました。

地域の社会資源として単に施設を開放するだけではない取り組みを法人として模索している中で、地域づくりにむけた地域の方の積極的な取り組みを支援させて頂くことにしました。参加者を募ったり、企画を考へるなど、あくまでも主体は地域の方ですが、私たちの専門性を活かしながら活動をバックアップさせて頂いています。

これまで高齢者施設であまり見かけることのなかった若い世代の方もヨガマットを抱えて施設に訪れます。支援を通してネットワークも生まれ、新たな集いの場も増えて来ました。今後も地域の皆さんの主体的な活動の支援を通して、顔の見える関係づくり、安心して暮らせる地域づくりを目指して、法人としても役割を担っていきたいと思います。

ZUMBA 円山



活動日

水曜日クラス (月2回)
金曜日クラス (月2回)

時間

水曜日クラス：9:30～11:00
金曜日クラス：13:00～14:30

活動場所

慈啓会特別養護老人ホーム 会議室

リラの会



活動日

第1・第3火曜日

時間

10:15～11:45

活動場所

木洩れびの家

その他

見学自由
飲み物・タオル持参



地域開放施設



木洩れびの家'ひととき'

慈啓会特別養護老人ホーム隣接

一軒家をバリアフリー化し、誰もが気軽に立ち寄れる場所として地域に開放しています。図書の貸し出しも行っています。

開館日 月曜日～金曜日

9:00～16:00

*国民の休日、12/28～1/3を除く

*都合により予告なしに休館にさせていただきます。

貸し切り希望は事前申し込み必要

利用料無料

お問合せ先 札幌慈啓会特別養護老人ホーム
TEL (011) 561-8291



会議室

慈啓会特別養護老人ホーム 1階

数名から60名までご利用が可能です。椅子や会議用テーブルもお使い頂けます。

貸出日 毎日(土日・祝日も利用可能)

9:00～21:00

*12/28～1/3を除く

利用料無料

お問合せ先 札幌慈啓会特別養護老人ホーム

TEL (011) 561-8291



地域交流センター

慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム 2階

地域の老人クラブや子育て支援サークル、各種趣味サークルなど地域交流の場としてご利用頂けます。

開館日 月曜日～金曜日

9:30～19:00

*国民の休日、12/30～1/3を除く

地域の方々は無料

お問合せ先 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム

TEL (011) 682-1821

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、グループ活動や施設貸し出しを中止している場合がございます。詳しくは直接お問い合わせ下さい。

令和元年度 法人決算報告

●資金収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

(単位:円)

| | 勘定科目 | 予算 (A) | 決算 (B) | 差異(A)-(B) |
|--|-----------------|---------------|---------------|--------------|
| 事業活動による収支 | 収入 | | | |
| | 介護保険事業収入 | 2,106,316,000 | 2,044,053,053 | △62,262,947 |
| | 老人福祉事業収入 | 684,795,000 | 618,439,965 | △66,355,035 |
| | 保育事業収入 | 122,928,000 | 123,663,521 | △735,521 |
| | 医療事業収入 | 1,778,121,000 | 1,787,744,702 | △9,623,702 |
| | 借入金利息補助金収入 | 702,000 | 679,287 | △22,713 |
| | 経常経費寄附金収入 | 4,375,000 | 4,459,100 | △84,100 |
| | 受取利息配当金収入 | 165,000 | 164,978 | △22 |
| | その他の収入 | 23,895,000 | 24,895,581 | △1,000,581 |
| | 事業活動収入計 (1) | 4,721,297,000 | 4,604,100,187 | △117,196,813 |
| | 支出 | | | |
| 人件費支出 | 3,047,091,000 | 2,969,829,843 | △77,261,157 | |
| 事業費支出 | 719,661,000 | 699,247,861 | △20,413,139 | |
| 事務費支出 | 713,691,000 | 632,442,230 | △81,248,770 | |
| 利用者負担軽減額 | 42,288,000 | 41,755,087 | △532,913 | |
| 支払利息支出 | 19,276,000 | 19,163,952 | △112,048 | |
| その他の支出 | 70,000 | 66,853 | △3,147 | |
| 流動資産評価損等による資金減少額 | 0 | 283,613 | △283,613 | |
| 事業活動支出計 (2) | 4,542,077,000 | 4,362,789,439 | △179,287,561 | |
| 事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2) | 179,220,000 | 241,310,748 | △62,090,748 | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | | | |
| | 施設整備等補助金収入 | 426,000 | 426,000 | 0 |
| | 固定資産売却収入 | 0 | 127,460 | △127,460 |
| | 施設整備等収入計 (4) | 426,000 | 553,460 | △127,460 |
| | 支出 | | | |
| 設備資金借入金元金償還支出 | 182,524,000 | 182,524,000 | 0 | |
| 固定資産取得支出 | 33,875,000 | 34,917,408 | △1,042,408 | |
| ファイナンス・リース債務の返済支出 | 26,564,000 | 25,690,140 | △873,860 | |
| 施設整備等支出計 (5) | 242,963,000 | 243,131,548 | △168,548 | |
| 施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5) | △242,537,000 | △242,578,088 | △41,088 | |
| その他の活動による収支 | 収入 | | | |
| | 長期運営資金借入金収入 | 200,000,000 | 200,000,000 | 0 |
| | 長期貸付金回収収入 | 90,000 | 120,000 | △30,000 |
| | 積立資産取崩収入 | 23,706,000 | 23,732,992 | △26,992 |
| | その他の活動収入計 (7) | 223,796,000 | 223,852,992 | △56,992 |
| | 支出 | | | |
| | 長期運営資金借入金元金償還支出 | 86,874,000 | 86,874,000 | 0 |
| | 長期貸付金支出 | 1,270,000 | 1,270,000 | 0 |
| | 積立資産支出 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 |
| | 法人税、住民税及び事業税支出 | 0 | 360,400 | △360,400 |
| その他の活動支出計 (8) | 98,144,000 | 98,504,400 | △360,400 | |
| その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8) | 125,652,000 | 125,348,592 | △303,408 | |
| 予備費支出 (10) | 0 | 0 | 0 | |
| 当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10) | 62,335,000 | 124,081,252 | △61,746,252 | |
| 前期末支払資金残高 (12) | 727,590,621 | 727,590,621 | 0 | |
| 当期末支払資金残高 (11) + (12) | 789,925,621 | 851,671,873 | △61,746,252 | |

●事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

(単位:円)

| | 勘定科目 | 当年度決算 (A) | 前年度決算 (B) | 増減 (A)-(B) |
|---|--------------------------------|---------------|---------------|-------------|
| サービス活動増減の部 | 収益 | | | |
| | 介護保険事業収益 | 2,044,053,053 | 1,994,820,281 | 49,232,772 |
| | 老人福祉事業収益 | 618,439,965 | 604,899,722 | 13,540,243 |
| | 保育事業収益 | 123,663,521 | 120,144,570 | 3,518,951 |
| | 医療事業収益 | 1,787,744,702 | 1,796,417,744 | △8,673,042 |
| | 経常経費寄附金収益 | 4,459,100 | 4,601,180 | △142,080 |
| | サービス活動収益計 (1) | 4,578,360,341 | 4,520,883,497 | 57,476,844 |
| | 費用 | | | |
| | 人件費 | 2,947,231,205 | 2,865,184,165 | 82,047,040 |
| | 事業費 | 699,092,422 | 689,114,938 | 9,977,484 |
| | 事務費 | 632,442,230 | 645,724,845 | △13,282,615 |
| 利用者負担軽減額 | 41,755,087 | 46,274,619 | △4,519,532 | |
| 減価償却費 | 234,124,691 | 250,294,257 | △16,169,566 | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △68,154,502 | 0 | 8,305,384 | |
| 徴収不能額 | 283,613 | 0 | 283,613 | |
| その他の費用 | 388,800 | 0 | 388,800 | |
| サービス活動費用計 (2) | 4,487,163,546 | 4,420,132,398 | 67,030,608 | |
| サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2) | 91,196,795 | 100,750,559 | △9,553,764 | |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | | | |
| | 借入金利息補助金収益 | 679,287 | 970,731 | △291,444 |
| | 受取利息配当金収益 | 164,978 | 170,490 | △5,512 |
| | その他のサービス活動外収益 | 24,895,581 | 17,216,407 | 7,679,174 |
| | サービス活動外収益計 (4) | 25,739,846 | 18,357,628 | 7,382,218 |
| 費用 | | | | |
| 支払利息 | 19,163,952 | 21,990,805 | △2,926,853 | |
| その他のサービス活動外費用 | 66,853 | 71,162 | △4,309 | |
| サービス活動外費用計 (5) | 19,230,805 | 22,061,967 | △2,831,162 | |
| サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5) | 6,509,041 | △3,704,339 | 10,213,380 | |
| 経常増減差額 (7) = (3) + (6) | 97,705,836 | 97,046,220 | 659,616 | |
| 特別増減の部 | 収益 | | | |
| | 施設整備等補助金収益 | 426,000 | 1,030,000 | △604,000 |
| | 固定資産売却益 | 124,278 | 950,400 | △826,122 |
| | 特別収益計 (8) | 550,278 | 1,980,400 | △1,430,122 |
| | 費用 | | | |
| | 固定資産売却損・処分損 | 72,726 | 9,557 | 63,169 |
| | 国庫補助金等特別積立金積立額 | 426,000 | 1,030,000 | △604,000 |
| | 特別費用計 (9) | 498,726 | 1,039,557 | △540,831 |
| | 特別増減差額 (10) = (8) - (9) | 51,552 | 940,843 | △889,291 |
| | 税引前当期活動増減差額 (11) = (7) + (10) | 97,757,388 | 97,987,063 | △229,675 |
| 法人税、住民税及び事業税 (12) | 360,400 | 300,600 | 59,800 | |
| 法人税等調整額 (13) | 0 | 0 | 0 | |
| 当期活動増減差額 (14) = (11) - (12) - (13) | 97,396,988 | 97,686,463 | △289,475 | |
| 繰越活動増減の部 | 前期繰越活動増減差額 (15) | 1,121,058,273 | 1,038,971,679 | 82,086,594 |
| | 当期末繰越活動増減差額 (16) = (14) + (15) | 1,218,455,261 | 1,136,658,142 | 81,797,119 |
| | 基本金取崩額 (17) | 0 | 0 | 0 |
| | その他の積立金取崩額 (18) | 23,732,992 | 3,400,131 | 20,332,861 |
| | その他の積立金積立額 (19) | 10,000,000 | 19,000,000 | △9,000,000 |
| 次期繰越活動増減差額 (20) = (16) + (17) + (18) - (19) | 1,232,188,253 | 1,121,058,273 | 111,129,980 | |

●貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

| | 資産の部 | | | 負債の部 | | | |
|-----------|---------------|---------------|--------------|-------------------|---------------|---------------|--------------|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増減 | 当年度末 | 前年度末 | 増減 | |
| 流動資産 | 1,097,239,537 | 1,003,022,139 | 94,217,398 | 流動負債 | 676,492,556 | 706,770,044 | △30,277,488 |
| 現金預金 | 406,473,990 | 355,630,830 | 50,843,160 | 短期運営資金借入金 | 0 | 20,000,000 | △20,000,000 |
| 事業未収金 | 669,918,782 | 621,306,176 | 48,612,606 | 事業未払金 | 194,303,812 | 191,677,180 | 2,626,632 |
| 未収入金 | 569,573 | 449,650 | 119,923 | その他の未払金 | 3,098,217 | 18,885,877 | △15,787,660 |
| 未収補助金 | 5,698,066 | 10,243,869 | △4,545,803 | 1年以内返済予定設備資金借入金 | 198,384,000 | 182,524,000 | △15,856,000 |
| 未収収益 | 1,791,525 | 690,968 | 1,100,557 | 1年以内返済予定長期運営資金借入金 | 77,379,000 | 77,350,000 | 29,000 |
| 医薬品 | 3,725,878 | 4,924,429 | △1,198,551 | 1年以内返済予定リース債務 | 19,532,625 | 24,854,820 | △5,322,195 |
| 診療・療養費等材料 | 3,042,855 | 1,688,865 | 1,353,990 | 未払法人税等 | 360,400 | 360,400 | 0 |
| 立替金 | 1,560,490 | 2,454,432 | △893,942 | 未払消費税等 | 1,832,100 | 2,396,400 | △564,300 |
| 前払費用 | 4,458,378 | 5,632,920 | △1,174,542 | 預り金 | 150,090 | 77,114 | 72,976 |
| 固定資産 | 4,055,991,400 | 4,253,323,579 | △197,332,179 | 職員預り金 | 39,028,764 | 35,272,006 | 3,756,758 |
| 基本財産 | 3,286,009,995 | 3,436,934,445 | △150,924,450 | 前受収益 | 18,000 | 18,000 | 0 |
| 土地 | 154,300,000 | 154,300,000 | 0 | 仮受金 | 7,548 | 191,047 | △183,499 |
| 建物 | 3,131,709,995 | 3,282,634,445 | △150,924,450 | 賞与引当金 | 139,805,000 | 153,223,000 | △13,418,000 |
| その他の固定資産 | 769,981,405 | 816,389,134 | △46,407,729 | 固定負債 | 1,342,417,633 | 1,444,923,412 | △102,505,779 |
| 土地 | 20,100,000 | 20,100,000 | 0 | 設備資金借入金 | 581,672,000 | 760,056,000 | △178,384,000 |
| 建物 | 135,642,878 | 173,238,331 | △37,595,453 | 長期運営資金借入金 | 306,994,000 | 215,590,000 | 90,504,000 |
| 構築物 | 13,244,925 | 16,754,174 | △3,509,249 | リース債務 | 27,309,516 | 39,877,557 | △12,568,041 |
| 機械及び装置 | 3,401,275 | 4,335,740 | △934,465 | 退職給付引当金 | 427,342,117 | 429,399,855 | △2,057,738 |
| 車輛運搬具 | 1,155,348 | 1,428,741 | △273,393 | 負債の部合計 | 2,018,910,189 | 2,151,693,456 | △132,783,267 |
| 器具及び備品 | 76,748,848 | 57,801,081 | 18,947,767 | 純資産の部 | | | |
| 有形リース資産 | 43,932,865 | 60,632,401 | △16,699,536 | 基本金 | 604,016,644 | 604,016,644 | 0 |
| 権利 | 106,440 | 106,440 | 0 | 国庫補助金等特別積立金 | 1,170,148,361 | 1,237,876,863 | △67,728,502 |
| ソフトウェア | 2,755,802 | 2,705,402 | 50,400 | その他の積立金 | 127,967,490 | 141,700,482 | △13,732,992 |
| 無形リース資産 | 2,758,104 | 3,688,632 | △930,528 | 施設整備等積立金 | 85,417,231 | 95,397,231 | △9,980,000 |
| 投資有価証券 | 42,000 | 42,000 | 0 | 人件費積立金 | 21,784,138 | 21,784,138 | 0 |
| 長期貸付金 | 6,420,000 | 5,270,000 | 1,150,000 | その他積立金 | 20,766,121 | 24,519,113 | △3,752,992 |
| 退職給付引当資産 | 335,245,220 | 328,122,320 | 7,122,900 | 次期繰越活動増減差額 | 1,232,188,253 | 1,121,058,273 | 111,129,980 |
| 差入保証金 | 420,000 | 420,000 | 0 | (うち当期活動増減差額) | (97,396,988) | (97,686,463) | △289,475 |
| 施設整備等積立資産 | 85,417,231 | 95,397,231 | △9,980,000 | 純資産の部合計 | 3,134,320,748 | 3,104,652,262 | 29,668,486 |
| 人件費積立資産 | 21,784,138 | 21,784,138 | 0 | 負債及び純資産の部合計 | 5,153,230,937 | 5,256,345,718 | △103,114,781 |
| その他積立資産 | 20,766,121 | 24,519,113 | △3,752,992 | | | | |
| その他の固定資産 | 40,210 | 43,390 | △3,180 | | | | |
| 資産の部合計 | 5,153,230,937 | 5,256,345,718 | △103,114,781 | | | | |

苦情受付の公表について

平成31年4月～令和2年3月までいただきました苦情等は以下のとおりです。
 ○受付件数：4件
 ○申出内容：職員言動に対する苦情(2件) 説明・情報提供について(2件)
 ○対応：申出内容について、速やかに状況の確認を行い不快な思いに対する謝罪と改善に取り組んでおります。
 ○第三者委員会：申出内容について第三者委員会に苦情内容及び苦情解決の経過・結果を報告し、助言等を頂きその後の業務に反映しております。
 貴重など意見ありがとうございました。

参考事例：職員言動について

意見等：職員からかうような発言をされた。以前から上から目線で対応が冷たいと思っていたが、こういう職員がいるということに対外的に知ってもらい改善してほしい。
 対応内容：施設長より当該職員に口頭で指導・改善を促し、施設長からも本人へ謝罪をしました。また本人の意向に沿い、第三者委員会へ報告し、その旨を本人に通知いたしました。その後本人からの苦情はなく経過しています。

支えて頂いている人と組織

地域



旭ヶ丘南町内会

会長 林田 忠様



当町内会は藻岩山麓に広がる閑静な住宅街の一角にあります。そのエリア内に慈啓会様の福祉施設があり、歴代の町内会長が時間をかけて地域と慈啓会様の絆を育んでまいりました。

後継者である私も両者の先輩諸氏のご意思を引き継ぎ、更なる深い交流を目指している最中でございます。

時代の変化により価値観の変化は否めませんが、これだけは守り育てていきたいと願うのは、人々が共に手をたずさえ共に生きる。この「共生」の言葉を基本理念に置いて活動しています。

慈啓会様と絆を持たれる多くの方々のご繁栄とご健勝を心からご祈念申し上げます。



ボランティア



特別養護老人ホーム

お話ボランティア 本間 智子様



平成21年5月に傾聴サークル「アクティブ17」の仲間数人とこちらの施設に訪問させて頂き、現在に至っています。

今関わっている方は視覚障害の方で、広い知識をお持ちで、話の内容に「そうそう」と共感し、分からないときには教えて頂き、毎回楽しく拝聴させて頂いております。時には職員さんにも話せないことをチャット話して下さることもあります。そのときは記録に書いてくるようにしております。入所者さんと職員さんを少しでも繋げることができたらと思っております。月2回の訪問ですが、これからも楽しく明るく色々なお話を聞かせて頂きたいと思っております。



ボランティア



コミュニティカフェ

谷口 洋子様



二年前、町内会の回覧でボランティア募集の記事を目にしました。町内会の方からお誘いがあり、話を聞きに行ってみることにしました。

説明を聞いている間に、一輪の花を生け、お抹茶を点てて日頃の疲れを取って頂きたいという思いが強くなり、特技を活かしてお抹茶のボランティアをすることになりました。その後二人のボランティアが加わり、お点前をお稽古する方々も増え、人の輪も広がっております。昨年の夏祭りでは野点でおもてなしをし、予想を上回る盛況で嬉しく思いました。

一輪の花を愛でながら頂く一服のお茶は格別です。ぜひコミュニティカフェに来て、気軽に出来るお点前を一緒に体験してみませんか。



会費・寄付者ご芳名

令和元年度に会員様から寄せられた会費・寄付金は合わせて299件、445万9100円でした。この貴重なご芳志は、福祉施設等の改築費用の返済金の一部に充てさせて頂いております。誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|------|
| 大竹春子 | 太田一郎 | 太田美彦 | 江口好彦 | 内海富子 | 岩田禎俊 | 岩瀬俊子 | 稲童丸夕美 | 稲上眞枝 | 伊藤秀子 | 市川京子 | 和泉玲子 | 石本政紀 | 石原瑛子 | 石谷昭治 | 石川光保 | 石川厚信 | 石井良一 | 石井子浩 | 池田修一 | 池田一朗 | 池田一朗 | 五十嵐貞子 | 安中静子 | 荒中喜春 | 我妻政敏 | 浅田眞吉 | 青木宗伸 | 相原宗一 | | |
| 小林敬明 | 小林孝三 | 黒沢孝三 | 黒沢孝三 | 倉内昭 | 倉内昭 | 久保清弘 | 久保清弘 | 工藤美信 | 工藤美信 | 木村和信 | 木村和信 | 紀國谷宏 | 北村正道 | 貴田実男 | 岸地英博 | 菊池則慈 | 菊池則慈 | 川畑成規 | 勝山浄夫 | 片山浄夫 | 小野寺和夫 | 小野寺和夫 | 小田島清勝 | 小田島清勝 | 長内孝之 | 奥寺和子 | 荻原健市 | 小川健市 | 太田眞海 | |
| 新保和男 | 神田達郎 | 島田眞子 | 島田眞子 | 島田眞子 | 柴山千雄 | 柴山千雄 | 真田祐二 | 佐藤保イ | 佐藤マサ美 | 坂本妙子 | 齊藤和子 | 小村知江子 | 小村知江子 | 小松ゆり | 杉野浩 | |
| 中村新嘉人 | 中村健二 | 中村彰男 | 戸谷彰男 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 | 富樫浩明 |
| 村松昌子 | 村上昌子 | 宮本眞一 | 宮本眞一 | 宮本眞一 | 三浦眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 | 丸山眞一 |
| 渡辺栄子 | 若木栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 | 吉村栄子 |

※敬称略・五十音順
職員30名は記名を省略させていただいております。

ご協力のお願い

昨年春に会長に就任しました横山昭でございます。会員の皆様には、元年度におきましても、後援会にご厚志をいただき誠にありがとうございます。今年度は、コロナウイルスによる感染症が発生し、なかなか先が見通せない状況にありますので、皆様におかれましては、どうか健康に留意してお過ごしいただければと存じます。



また、このような時こそ、病院や高齢者施設の安全・安心な運営が求められます。慈啓会を支える活動を行う後援会に、今年度もどうかご協力をお願いいたします。

後援会役員

| | |
|-----|-------|
| 相談役 | 杉野目浩 |
| 会長 | 横山昭 |
| 副会長 | 山田肇 |
| 委員 | 大室スミ |
| 委員 | 片山浄教 |
| 委員 | 池田英隆 |
| 委員 | 植田明也 |
| 委員 | 熊谷明也 |
| 委員 | 佃公子 |
| 委員 | 太田眞琴 |
| 委員 | 太田眞琴 |
| 委員 | 藤岡弘昌 |
| 委員 | 谷本由紀子 |
| 委員 | 寺井孝典 |
| 委員 | 堀内和紀 |
| 委員 | 佐々木琢至 |
| 委員 | 小村知江子 |
| 委員 | 勝藤成規 |
| 委員 | 佐藤保則 |
| 委員 | 福田三行 |
| 委員 | 東出俊之 |
| 委員 | 深谷仁 |
| 委員 | 加藤敏彦 |
| 委員 | 藤田晃三 |
| 委員 | 佐藤源五郎 |
| 監事 | 富樫英樹 |

(順不同・敬称略)

自宅にいても**要注意!** 脱水のサインに気を付けよう

札幌市中央区
第3地域包括支援センター
保健師 安藤 紫乃

これから夏の暑さが本格的になり、多量の汗をかくと口が渇く、体がだるいという脱水の症状が出てきます。他にも頭痛や足がつる、けいれんの症状が出ることもあり、時には命を落とすこともあります。トイレに行く頻度が減少している、いつもより尿の色が濃いと感じたときは体の中の水分不足が始まっているサインです。

汗をかくことで水分以外に塩分を含んだ電解質も体から失われます。水や麦茶といった水分の他に梅干し(漬物)や塩飴を口にする事で塩分も補給できます。夏野菜も水分補給や体温を下げる効果が期待できます。環境面ではクーラーや扇風機を使用して風通しを良くすることや体を締め付けない衣類を着用することが予防につながります。

自分たちが思っている以上に体は渴いていることが多いです。季節問わず水分を摂る習慣を身につけ、短い北海道の夏を元気に乗り切っていくことができると良いですね。



暑さに負けるな! 応援レシピ!

三浦雄一郎さんのスタミナ丼をアレンジ
お家にある物でより簡単に、夏バテ予防!

《スタミナ丼》



慈啓会老人保健施設
管理栄養士 尾形 早百合

【材料】

- ・ごはん 1膳
- ・納豆 1/2パック
- ・生卵 1個
- ・ちりめんじゃこ 大さじ1
- ・味のり お好みで
- ・ポン酢 大さじ2

【作り方】

- ①生卵を黄身と白身に分け、白身は少し泡立てる
- ②丼にごはんを盛り、泡立てた白身をよく混ぜる
- ③②に納豆・黄身・ちりめんじゃこをのせ、味のりをちぎりかける
- ④ポン酢をかけて、混ぜながらいただきます

三浦雄一郎さんのスタミナ丼は、納豆・長芋・生卵にたっぷりのバルサミコ酢をかけて。

すると掻き込みがちな丼も、ちりめんじゃこのおかげでよく噛んで食べることができます。

ごはんは麦飯や雑穀飯にすることで、食物繊維やミネラルも摂れます。

疲れがとれない朝や夏バテ予防に、手軽にしっかり食事を摂って元気に夏を楽しみましょう!!

編集後記



「密を避ける」、というのが現在の世界の常識である。昔のことだが、米国の学者がエレベーターを使った実験を行った。予告せず、同数ずつ様々なグループに分け、密な状態でエレベーターに寄せ、途中で緊急停止させて出られなくした。その時の集団の行動を検証分析するというものである。短時間で大騒

ぎとなったのが、2メートルを超す屈強な NBA の選手達であった。長時間慌てずに扉が開くまでお互い励ましあったのが、子供や若者、お年寄りなどの男女のグループであった。ノーマライゼーションの共生社会が一番パニックに強いと合点した。密になり、楽しく飲める日常が訪れるのを心待ちにしている。(俊)

表紙題字揮毫:「共生」

長谷川白羊 (はせがわはくよう) 書。
昭和4年札幌市生まれ。本名・悦以 (よしつぐ)。法政大学文学部卒。
昭和35年山口子羊に師事。平成2年「札幌と書」(札幌市教育委員)に於いて「札幌の書家」百選に選ばれる。平成6年個展開催(於札幌大丸藤井セントラル)

表紙写真:「慈啓会病院看護スタッフ」

広報誌「共生」2020年7月 Vol.07

編集発行/社会福祉法人札幌慈啓会

【法人本部】〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号
(慈啓会特別養護老人ホーム1F)
TEL011-561-8291 FAX011-561-8298
<https://www.sapporojikeikai.or.jp>

